



地元の反対などのため、2008年の横浜市都市計画審議会で認められず中止された栄区上郷町の大規模な緑地開発計画が再び動き出した。東急建設（東京・渋谷）が年明けに事前相談書を市に出し、6月にも都市計画法に基づいて提案するという。市が9日明らかにした。

# 燃再開発とふも山海円

## 東急建設 規模縮小して提案へ

## 驚く市民 有数のホタル生息地

上郷開発計画は、自然豊かな円海山（153㍍）のふもとに広がる緑地約33㍍にマンションや商業施設をつくる。計画区域を流れる「瀬上沢」はホタルの生息地として知られる。

関係者によると、東急建設は地元市民グループや町内会に事前説明会を開き、計画の青写真を示している。開発の中心は区域内を走る市道・舞岡上郷線の西側になるという。

林文字市長は9日の市議会本会議で「前回提案では樹林地の大幅改変や高層マ

ンションなどを計画していたが、今回は規模を縮小し、区域の60%以上の緑を残すと聞いている」と答弁。同社は前回、50%以上の緑地保全を掲げていた。

「消えた計画じゃないのか」「ストップしたと思っていた」――。瀬上沢の保全活動を続ける市民によると、今回の「再提案」に多くの地元住民から驚きの声が上がったという。

上郷地区では過去に何度も開発計画が浮上しては立ち消えになった。前は地元住民らが07年12月、9万

余の反対署名を提出。08年9月の横浜市計画審議会は「市民の賛同が得られていない」などとして計画を承認しなかった。

栄区の石渡由紀夫市議（民主）は「地元住民の多くが反対している。この開発は本当に必要か」と質問。林市長は「良好な緑地や水辺環境の保全をはかりつつ、提案に適正に対応していきたい」と説明した。

反対運動を続ける市民は「ここは自然の宝庫。使われていない市有地と代替するなど、市は別の方策も考えてほしい」と語った。

瀬上市民の森につらなる瀬上沢は市内でも有数の自然の宝庫。ホタルも多く、市民に親しまれている＝横浜市栄区

（佐藤善一）